



MYタウン

赤坂青山

AKASAKA AOYAMA

【特集①】赤坂・青山の地元企業が発信

地元ならではの
旬なトピックスを
お届けします!

SDGsのこともっと知ろう



【特集②】

あらためて知る
赤坂・青山の
お寺の魅力



SDGs とは…

Sustainable Development Goals (サステイナブル デベロップメント ゴールズ)の略称で、「持続可能な開発目標」のこと。2015年9月に、国連全加盟国が採択し、貧困や不平等、地球環境など17の目標と169のターゲットを掲げ、2016年-2030年の15年間で世界が達成すべきゴールを表したもので、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、世界中で一斉にスタートしました。

地球のためにできること 赤坂・青山の地元企業が発信

SDGsのこともっと知ろう

SDGsって何？ 聞いたことはあるけれど、よく分からない。多くの人がそう感じているのが現状でしょう。そこで、赤坂・青山地域の企業にスポットを当て、SDGsに対してどんな取り組みをしているのかをレポート。SDGsのことを学びながら、地元企業と手を取り合って、地球のために、世界のために、一人ひとりができることから始められたら素晴らしいことですね。



報道記者歴20数年のキャリアを持つ、SDGs企画部長の井上波さん。「地球を笑顔にする～」イベント会場にて

「東大王」のメンバーが「地球を笑顔にする広場」に集結。SDGsに関する超難問にチャレンジして勝ち上がると、東大王との早押しクイズ対決が実現するとあって、ステージは大盛り上がり



TBS

地球を笑顔にするキャンペーンを全社的に実施

SDGsを広めるために、地球の未来のために、メディアとしてどう取り組んでいるのでしょうか？ SDGsプロジェクトを立ち上げ、中心となって活動しているTBS SDGs企画部長の井上波さんに話をうかがいました。

TBSでは令和2年(2020)秋からキャンペーン「地球を笑顔にするWEEK」をスタート。テレビ・BS・ラジオほか、全社が一丸となってSDGsを推進しています。報道や情報番組だけでなく、「世界くらべてみたら」「東大王」などのバラエティ番組でもSDGsを親しみやすく紹介することで、SDGsへの認知や関心を高め、大反響を呼びました。キャンペーンにはSDGsに取り組むさまざまな企業もパートナーとして加わっています。

また、赤坂サカス広場ではSDGsを行動に移すヒントを提供するイベントも開催。令和4年(2022)のゴールデンウィーク期間には「平和」をテーマにしたイベントを実施し、ワークショップ



SDGs大使を務めた杏さん、川島明(麒麟)さん、井上咲楽さん。「私はこんなことをしています」と、ひと言宣言でアピール



「赤坂もったいない市」ではTBS社員・スタッフから集めた「不要だけどまだまだ使えるもの」を無料で譲渡。集まった寄付は区内3か所の子ども食堂にやってくる子ども達のクリスマスプレゼントになるそうです



やステージに、子どもを中心に延べ13,000名が参加するなど、大盛況だったそうです。

11月3日(木・祝)～6日(日)には、気候変動と地球温暖化をテーマにしたイベントを開催。TBS社内では不要になったものを提供する人気企画「赤坂もったいない市」や、小学生～大学生で活動している「SDGs子ども勉強会プロジェクト」

「赤坂もったいない市」ではTBS社員・スタッフから集めた「不要だけどまだまだ使えるもの」を無料で譲渡。集まった寄付は区内3か所の子ども食堂にやってくる子ども達のクリスマスプレゼントになるそうです



お菓子などの空き箱や古紙を再利用して、バタバタ人形などを製作。親子で参加するケースが多く、とっくにぎわっていました



食べ終わったら、こちらの「ZERO WASTE HUB」へ。食べ残しはコンポストバッグを活用して堆肥に蘇えらせ、容器やストローはリサイクルするという徹底ぶりです

のメンバーが考案したミートフリーメニューをイベント会場で口にできるという新たな試みも実施し、注目を浴びました。

これからもメディアならではのネットワークを活かしながら、さらにSDGsプロジェクトを発展させ、目標達成に向けて、さまざまな情報を発信していくとのことです。

ITOCHU SDGs STUDIO

SDGsの理念に通ずる「三方よし」の精神

ITOCHU SDGs STUDIOは、SDGsと生活者を繋ぐ施設として、令和3年(2021)4月にItochu Garden内に開設されました。これは、伊藤忠商事の創業の精神である企業理念「三方よし」がSDGsの理念にも通じるものであり、中期経営計画・基本方針として掲げる『「SDGs」への貢献・取組強化』の一步として始まったものです。

施設は3つのエリアからなり、あらゆるSDGsに関わる活動を行っている団体などに、伊藤忠商事

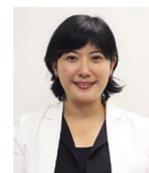
ITOCHU SDGs STUDIOを運営する伊藤忠商事(株)Corporate Brand Initiativeの孤田有花さん

が場所を無償で提供する形で運営されています。**ギャラリー&ショップ**

SDGsに関わる活動をする団体などへ無償で提供する展示スペース。これまで13の企画展を行い、約4万人の方が来場しました。常設のエンカールコンビニには、バイヤーが世界中から厳選したエンカールな化粧品、衣類、食品が並びます。初めて見る商品ばかりで、生産地やそこにいる人々に思いを馳せながらお買い物を楽しめます。

ラジオステーション

タレントのSHELLYさんがナビゲートするJ-WAVEラジオ番組『ITOCHU DEAR LIFE, DEAR FUTURE』の収録も行っており、施設に足を運べない方にも、SDGsについて考えるさつ



森ビルの考える未来について教えていただいた、広報室の田澤由梨さん

森ビル

都市におけるSDGsの先駆け

昭和61年(1986)に竣工したアークヒルズは、「緑に覆われた超高層都市 ヴァーティカル・ガーデンシティ構想」というコンセプトで、豊かな緑・コミュニティ・文化を創出し、災害にも強い街づくりを目指しました。単に建物を創るだけでなく、そこに住まい集う人々との未来の創造です。

森ビルの街づくりは建物の高層化により生み出された空地を自然に開放し、緑被率やエネルギー効率の大幅な向上を実現、何より集まる人々に上質な心地良さをもたらしています。最新の環境技術を導入した都市の脱炭素化を進め、時代に合わせた持続的な改善もなされています。また、高層化による立体スペースを活かし、コンサートホールや美術館を設置、文化の発信拠点として人を豊かにする取り組みにも積極的です。さらに「ヒルズ街育プロジェクト」は、未来に向けた子ども達への学びの場を提供しています。

「都市を創り都市を育む」というコンセプトは、持続可能な世界の創造というSDGsの思想そのもの。取材に応じていただいた広報室の田澤さんの熱い想いも感じることができ、今後の森ビルの開発にますます夢がふくらみます。



各地の特産物を販売するマルシェも開催。人々の交流の場でもあります



「ヒルズ街育プロジェクト」の様子



六本木と溜池山王の中間地点にあり、街のアイコンにもなっているアークヒルズ



サントリーホールの屋上は庭園になっていて、四季折々、さまざまな草花が楽しませてくれます



期間限定で入れ替わるSDGsに關係した展示(写真は2022年7月より開催した『子どもの視展』)



伊藤忠商事本社横にあります。ラジオステーションからは実際にラジオ番組を収録して放送しています

かけを与えられるよう発信しています。

ITOCHU SDGs STUDIO KIDS PARK

次世代を担う子ども達が、楽しく遊びながらSDGsの考え方を体験できる施設。きれいな海を守るの大切さに触れるデジタルアートなどSDGsをテーマにした4つのオリジナルエリアがあります。また、SDGsに通じる玩具や絵本がそろっていて、子ども達に「夢になれるSDGsに出会うきっかけ」の場となっています。

※現在1日300人までの事前オンライン予約制、入場料無料



遊びながらSDGsについて自然に学べるキッズパークは大人気です

from 山協学園高校 SDGs 学生の活動

未来を担う若者たち。教育現場ではSDGsにどう関わっているのでしょうか？ 赤坂にある山協学園高校の新田さんと吉村さんの活動に注目してみました。文化祭でハンドメイドのビーズリングとランプシェードを販売するグループを立ち上げ、その収益の使い途は購入者の投票で決定。世界の少女や女性の支援へと寄付しました。先生達はあくまでも見守り役に徹しているのも注目です。

この一連の活動が評価されて、CAC100アワード(ガールスカウト日本連盟主催)でコミュニティアクション賞を受賞しました。授賞式に臨席された秋篠宮佳子さまと直接会話する機会も得て、今後の活動への励みとなったそうです。



可愛らしいグッズは、自分たちで手作りして価格は100円前後。値づけにも苦労しました



新田さん(左)と吉村さん(右)。コンテストでの発表も自分たちで考えて練り上げたもの

購入した人はどの活動に寄付したいか、シールで投票することで、問題を感じている工夫も

ここに注目!

特集② あらためて知る

赤坂・青山のお寺の魅力

歴史ある名刹、今も人々とのふれあいを大切に

歴史の古い赤坂・青山には大小多くのお寺があります。それぞれ由緒があり、街の由来にも関わっていたりします。お散歩がてら、訪ねてみてはいかがでしょうか？

いとくじ

赤坂不動尊 威徳寺 紀州徳川家にも縁の深い新しい形のお寺



本堂は歴史を感じさせる作りで、不動明王が祀られています

一ツ木通りの赤坂不動尊威徳寺は平成29年(2017)の改築以来、副住職の飯島隆貴さんがさまざまなアイデアを発信しています。毎月、写経会や寺ヨガを行うほか、新年1月4日の書き初め&おもにつき大会(新春大護摩修行)には特に力を入れています。

これは飯島さんが「子ども達が宿題の書き初めをお寺でやれば、楽しいのでは?」と思ったのがきっかけ。町内会や赤坂地区委員会、赤坂小学校PTAの協力のもと、お不動さんに供えた餅米を搗いて、お汁粉にして振る舞うという行事です。今年も200人も参加して大盛況でした。

アイデアマンの飯島さんは生まれも育ちも赤坂で、現在30歳。住職を父親に持ち、20代は京都や名古屋で修行を重ねてきました。「かつてお寺は子ども達が宿題や遊びで集まるところで、近所の人が訪れるおしゃべりの場でもありました」と

語り、寄合や共同体のためのお寺という姿を、あらためて目指しています。

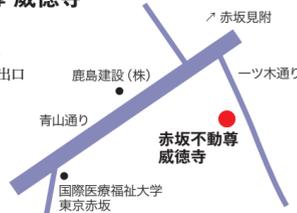
威徳寺が現在の地に開山したのは慶長5年(1600)。江戸時代は紀州徳川家の祈願寺でもありました。それから400年超。今、新たな節目を迎えた威徳寺のこれからに注目しましょう。

DATA 赤坂不動尊 威徳寺

赤坂4-1-10
☎03-6435-5576
赤坂見附駅10番出口から徒歩2分



公式HP



落ち着いた気持ちになれる本堂でのヨガは貴重な体験です



屋内の墓地は自動搬送式で、参拝口には墓誌や家族史などが映像で流れる「家系樹」というサービスも提供しています

瓦屋根も回廊もない新時代のお寺。さまざまな多目的施設を併設し、コンサートや講演会ができるホールも備えています



竹林の道には、進むにつれて日常から非日常へ行くような感覚を持ってもらいたい、という思いが込められています

梅窓院 地名の由来となった青山家の菩提寺

青山通りから続く竹林の中を進み、古い山門をくぐると、お寺とは思えぬモダン建築が。平成15年(2003)、建築家の隈研吾さんの設計によって生まれ変わった梅窓院。青山の由来となった青山家の菩提寺です。

「青山家には二代将軍・徳川秀忠と、青山幸成と一緒に鷹狩りをしていたとき、将軍が「馬で走った分だけ領地を与える」という言い伝えがあります。それが現在の青山なのですが、真偽はさておき、それほど青山家と徳川家は信頼関係が厚かったのです。その幸成が逝去したときに、下屋敷のあったこの地に寛永20年(1643)建立されたのが梅窓院です」と、広報部副部長の川添崇祐さんは説明してくださいました。

「幕末に黒船がやって来たとき、青山から大砲を持った軍団が出かけたという記録もあります」そんな逸話もある梅窓院ですが、昭和20年(1945)の空襲で古文書は全部焼けてしまい、残ったのは過去帳だけだったとのこと。

現在の梅窓院は、お寺という聖なる空間と同時に、さまざまな教室やイベントなども開催できるコミュニティ空間として、多くの人に利用されています。

青山家累代の墓。以前は家臣たちのお墓が主君のお墓を守るように並んでいたそうです。墓地にはエッセイストの宇野千代さんや、劇画家のさいとう・たかをさんのお墓などもあります



DATA 梅窓院

南青山2-26-38
☎03-3404-8447
外苑前駅1b出口からすぐ



公式HP



善光寺 代々、尼僧が住職を務める長野の別院

表参道交差点のほど近くに長野の善光寺の東京別院があります。

「青山の善光寺は信州善光寺にお参りに行くことができない人々のために、徳川幕府の要請によって慶長6年(1601)谷中に創建されました。その後、大火で消失してしまい、宝永2年(1705)に現在の青山の地に再建されました」

お話をうかがったのは青山の善光寺の16代目住職・川名観恵さん。

長野の善光寺は八宗兼学の寺院として知られていますが、現在は天台宗の「大勧進」と浄土宗の「大本願」で守られています。

「大本願は尼僧寺院でご住職は代々、宮家から迎えられています。ここ青山の善光寺は明治期まで信州善光寺からのご住職が兼務されていましたが、新制度が敷かれ信州へお帰りになられ、その後は信州善光寺別院として別々の尼僧住職になりました」

長野の善光寺の本尊「一光三尊阿彌陀如来」は絶対秘仏で有名ですが、青山の本尊は、法要



のときなどには拝むことができます。

「長野の御本尊と同様に舟形の光背に阿弥陀三尊というお姿の世にいう善光寺如来です」

また、長野と同じく青山でも「戒壇めぐり」(※)をすることができます。

境内では毎夏、青山表参道商店会、町会による盆踊りが行われ、近隣住人のコミュニケーションの場として親しまれてきましたが、コロナ禍でここ3年は中止。来年こそは善光寺に人々の笑顔が戻ってくる日を願うばかりです。

「長野の善光寺には4つの門があり、南側を南命門と呼んでおります。江戸は長野から南にあるということで南命山という山号になりました。善光寺とは、善光寺を開山した飛鳥時代の本田善光の「善光」の名に由来するといわれています」(川名住職)

境内には、幕末の蛮社の獄で投獄され、脱獄後、青山で自害した医者・蘭学者、高野長英を顕彰する、勝海舟の撰文による記念碑があります



奥庭には「山路来て何やら床すみれ草」という松尾芭蕉の句碑があります。そのほか、人力車発明記念碑もありますが、どちらも一般公開はされていません



仁王門の左右には仁王像が立ち、守護しています

※戒壇めぐりとは、本尊の真下の真暗な通路を、右手だけを頼りに手すりや壁を触りながら回り、途中にある錠前に触れることで本尊と直接縁を結ぶというもの。現在コロナ禍のため中止しています

DATA 善光寺

北青山3-5-7
☎03-3401-3915
表参道駅A3出口から徒歩2分



大きく目立つ鐘楼。大晦日の除夜の鐘は一般参加でき、コロナ禍以前は、整理券を渡して108人が鐘を叩くことができました。残念ながら現在はお寺の方たちだけでついでいます



現在の本堂は昭和44年(1969)に再建されました。善光寺では、昭和20年(1945)5月25日の東京山の手空襲で、焼け野原になった表参道周辺で亡くなった沢山の人のために、毎年5月25日に法要が行われています

ワタシが青山に住む理由

青山は愛犬との暮らしに寄り添う理想の街

ジョナサン ベルギッグさん

出身：フランス パリ
住まい(居住歴)：南青山(9年)
仕事：CITRONのオーナー



南青山のマンションの4階に住まい。白い家具が印象的なシンプル&モダンなインテリアです

ジョナサン・ベルギッグさんは毎朝5時に起床し、青山霊園周辺を1時間ほど歩いて、2匹の愛犬との時間を楽しむのが日課です。毎日の食事は地元の食材と有機野菜を使った手作りのサラダ、キッシュ、グラタン、スープなど、とってもヘルシー。経営しているカフェレストランも野菜中心のメニューがそろっています。愛犬との

生活が第一のジョナサンにとって、青山は恰好の住まいとのこと。「素敵な小路、おしゃれなお店、おいしいレストラン、そして青山霊園や公園の緑が多い環境など、青山には自分の求めているものすべてがそろっている。青山の街の雰囲気大好きなので、青山を離れることは考えられないですね」



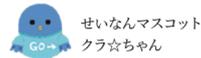
静かで緑の多い青山霊園は特にお気に入りの散歩コース。愛犬2匹の足並みがついたりそろっているのも愛らしい

青山三丁目交差点にほど近い外苑西通り沿いにあるフレンチベジタリアンカフェレストラン「CITRON」の店先で、接客中のジョナサン

INFORMATION

[インフォメーション]

地域
だより
Vol.5



放課 GO → クラブせいなん 放課後を楽しく、みんなで過ごそう!!



港区HP



放課GO→クラブせいなんは、小学生が放課後を安全に安心して過ごせる居場所作り事業の「放課GO→」と、児童の日常生活と健全育成の場「学童クラブ」を併設しています。青南小学校の児童と、学区に住んでいる他校の小学生が利用できる施設です。今回は放課GO→クラブせいなんで行っているプログラムの一部をご紹介します。



みんなで遊ぼう!

第二グラウンドや青南小学校の体育館で巨大オセロ大会やレーなど、体を動かすイベントを定期的に行っています。



季節の工作「コレクトナカイ」

制作イベントは、毎月のわくわく工作と行事毎の季節の工作があります。毎回、個性溢れる素敵な作品が出来上がります。



せいなんGO→GO→まつり

周年行事として毎年11月に「せいなんGO→GO→まつり」を開催しています。昨年は忍者をテーマに謎解きや忍者修行をしました。

優しい指導員の皆さん

それぞれの得意分野を活かしながら元気な子ども達と楽しく過ごしています。また、近隣の学童クラブやいきいきプラザなど他施設との交流も行っています。



【赤坂・青山 地域の活動】 青山表参道商店会 / 青山表参道町会

青山表参道商店会は、地域住民や商店会加盟店と共に、清掃活動を通じて、明るくにぎわいのある街を目指し日々、活動しています。

活動の内容を教えてください。

町会活動や保護司としての活動など幅広く行っていますが、商店会の環境部としては主に清掃活動に力を入れています。

青山表参道商店会の地域清掃は、毎月第2・第4金曜日の朝9時から、表参道駅周辺で実施しており、先輩達から受け継ぎ、30年ほど続く活動

夏季ラジオ体操の様子



となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一時活動は難しかったですが、緊急事態宣言期間を除き、感染症対策を徹底しながら継続しています。まだまだ取東が見えないご時世ですが、昨年は20回ほど実施できました。

活動する中でどのようなやりがいや大変さを感じますか?

清掃活動でさまざまな方とコミュニケーションをとり、にぎわいながら、皆さんと街を綺麗にすることにやりがいを感じています。

懸念点は、コロナ禍を経験して参加人数が今までよりも少なくなっていることです。

活動に気軽に参加していただけるように、行政と連携しながら、商店会や町会のホームページ、商店会のFacebookなども活用し、情報発信について工夫していきたいと考えています。

今後この活動についてどのように展開していきたいですか?

清掃活動を通じて地域コミュニティの輪を広めたいです。そのために、商店会や町会の役員だけでなく、一般の方にも情報を伝達できるよう工夫し、地域のマンションにお住まいの方など、より多くの方に参加していただける活動にしていきたいです。

地域で活躍している方々を紹介

Vol.33

青山表参道商店会 環境部長
青山表参道町会 総務部長

鈴木克幸さん
すずきかつゆき



地域清掃活動の様子



青山表参道商店会HP



青山表参道町会HP

赤坂地区総合支所からのお知らせ

REPORT

港区×岐阜県郡上市との交流事業 田舎の夏休み体験教室を実施しました!



長良川ラフティング体験



民泊の様子



下駄づくり体験



郡上おどり練習会

港区と交流基本協定を結ぶ岐阜県郡上市。その郡上市に赤坂・青山地域の小学生(4年生~6年生)が訪問する「田舎の夏休み体験教室(岐阜県郡上市との交流事業)」を開催しました。今年度は計26名の児童が参加し、郡上市の豊かな自然を体験するとともに、伝統ある文化・歴史を学びました。

港区の職員を名乗り「保険料や医療費の還付金がある」という詐欺電話が多発しています!

区の職員が還付金や返還金に関しATMに行くようお願いすることは絶対にありません。

振り込み詐欺被害防止に効果がある自動通話録音機を無料で貸与します

電話の呼び出し音が鳴る前に、自動的に相手に警告し、通話を実際に録音する自動通話録音機を使用すれば、詐欺電話はほぼ撃退できます。区内の高齢者がいる世帯等に無料で貸与しますので、ぜひ利用しましょう。
※電話回線による非常通報装置(区の緊急通報システムを除く)とは併用できない等、電話機の状況によって利用できない場合があります。
※電話料金等は利用者負担です。



(設置イメージ: 電話機の状況により異なります)

●問合せ/防災危機管理室 防災課 生活安全推進担当
☎03-3578-2271



「赤坂青山 美しいまち マナーのまち」キャンペーンに参加しませんか?

【主な活動内容】

喫煙マナー・ルール向上の啓発活動/清掃活動/放置自転車・放置バイクへの警告札の貼付など



詳しい情報は
こちら!



【スケジュール】

実施日	時間	活動場所
2022年 12月22日(木)	9:30~10:30(受付9:10~)	赤坂駅周辺
12月23日(金)	9:00~10:00(受付8:40~)	表参道駅周辺
2023年 1月26日(木)	9:30~10:30(受付9:10~)	溜池山王駅周辺
1月27日(金)	9:30~10:30(受付9:10~)	青山一丁目駅周辺

●問合せ/赤坂地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎03-5413-7272

赤坂・青山子ども 共育事業のご案内

赤坂地区総合支所では、地域の企業や団体などと協働して小中学生向けの講座を実施しています。講座の募集情報等は下記の二次元コードから随時ご確認ください。

●問合せ/赤坂地区総合支所
協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

共有情報局Facebook 共有情報局HP



サンロッカーズ渋谷による「バスケットボール講座」



有馬和歌子さんによる「はじめての日本舞踊体験教室」

「青山地域の新しい防災を考える」 日本オラクル株式会社がワークショップを開催

●問合せ/日本オラクル株式会社 ソーシャルデザイン推進本部
【本社】港区北青山2-5-8 オラクル青山センター
【連絡先】sd_japan_info_jp_grp@oracle.com

赤坂・青山会議の参画企業である日本オラクル株式会社が、青山地域に関わりのある企業・学校・地域住民等が所属や世代を超えて共創し、青山のソーシャルな新しい価値を創出することを目指す「UkiUki青山プロジェクト」を立ち上げ、その第1弾として8月23日に「青山地域の新しい防災を考える」ワークショップを開催しました。

今回のワークショップでは、赤坂地区総合支所協働推進課と東京ボランティア・市民活動センターから防災への取り組みについても紹介され、チームごとに普段の行動、青山地域のイメージ、災害について考え、その解決に繋がるアイデアと災害時に加えて平時でも活用できるアイデアをまとめました。



赤坂・青山会議の参画企業を募集しています!

地域の課題解決と一緒に取り組んでいただける企業を募集しています。

●問合せ/赤坂地区総合支所
協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

地域の公園イベント情報

工作体験「クリスマスリースづくり」

日時: 12月10日(土) 10時~12時
会場: 高橋是清翁記念公園
定員: 先着30名
(予約開始11月25日(金)8時30分~)



プチプレーパーク

日時: 1月28日(土) 13時~15時
会場: 北青山一丁目児童遊園



情報は随時更新!



●問合せ/高橋是清翁記念公園管理事務所
☎03-6384-5113

※今後の新型コロナウイルス等の感染状況によって変更の可能性がございます。HP、SNS等をご確認ください。

ランチでは
テイクアウトも
実施中!

編集委員おすすめの【お買い物情報】 BEST BUY



アオザイ

まかない丼

42年もの歴史を持つ
ベトナム料理店

●赤坂5-4-14 トレード赤坂ビル ☎03-3583-0234

日本で最も古いベトナム料理店として、42年もの歴史を持つ「アオザイ」。初代オーナーは新聞記者としてベトナム戦争に従軍しており、帰国後、ベトナム難民の雇用のために始めたのが開店のきっかけという逸話からも、改めてその年月を感じさせます。

当時は食材の入手も難しく、客室乗務員の方に調達を依頼したこともあったとか。

昭和57年(1982)から厨房に立っている現オーナーの木村さん



ベトナム伝統工芸の螺鈿絵画が店内に飾られています

グアテマラでは日本大使館の公邸料理人をされていたという現オーナーの木村さん

は、以前は中南米のグアテマラで料理人をされていたという、ユニークでパワフルなご経歴の持ち主です。

今回のコロナ禍は、開店以来、最も厳しい環境の変化とのことでしたが、この先も長きにわたり、赤坂で新たな時を刻んでいくことでしょう。



詳しいお店の情報は
こちらから

八百浅(やおあさ)

赤坂にある
昔ながらの八百屋さん

●赤坂2-18-9 ☎03-3583-6410

オフィスビルが建ち並ぶ六本木通り、その路地裏でのんびりと営業している青果店が赤坂2丁目にあります。店の名は「八百浅」。まるで昭和のドラマに出てくるような店構えの八百屋さんですが、郊外や下町ならともかく、都心の赤坂ではかなり珍しいです。

この地で生まれ育った店主の有田さんによると「祖父が、おそらく85年ほど前に始めました」というこ



平日7時～19時まで営業、休みは日曜日のみ。店主の有田さんは早朝4時に豊洲市場へ行っています

とで、昭和10年代以来のご商売となります。この店の存在から、昨今の赤坂2丁目も、かつては個人商店があったことが偲ばれます。

現在は弟さんと2人で看板を守っていますが、創業100年まで頑張っている昔の赤坂の風景を残していただきたいお店です。

警視庁赤坂警察署からのお知らせ

警視庁 赤坂防犯ニュース

電話でお金の話?
キャッシュカードの話?
ATMでお金が戻る?

還付金詐欺

区役所の保健課です。
医療費が戻ります。

すぐに近くのATMへ行ってください。

それ、詐欺!

架空請求

有料サイトの利用料金が未納です。

コンビニのマネーカードの写真を送ってください。

キャッシュカード詐欺盗

警察官、金融庁、銀行員を名乗る電話があります。

カードが不正に利用されています。職員がこれから伺います。

犯人は、キャッシュカードを封筒に入れて封印させ、開けないように指示してきます。しかし、この時にはすでにカードをすり替えて盗まれています。



問合せ/赤坂警察署犯罪抑止対策事務局
☎03-3475-0110
(内線2162)

赤坂警察署のホームページでも情報提供しています。二次元コードを読み取って下さい。



都税事務所からのお知らせ



来所せずにお手続きができます

主税局では、納税者の皆様が都税事務所等に来所することなく、郵送やインターネット等でお手続きできる仕組みを設けております。郵送や電子による申告、申請・届出、キャッシュレスによる納税方法等をぜひご利用ください。

詳細は、主税局HPをご覧ください。



↑主税局HP

中小企業者向け省エネ促進税制
～法人事業税・個人事業税の減免～

東京都では、中小企業者が行う省エネ設備等の取得を支援するため、法人事業税、個人事業税を減免しています。詳細は、東京都主税局HP「<東京版>環境減税について」をご覧ください。



↑主税局HP

問合せ先

○中小企業者向け省エネ促進税制について
港都税事務所 ☎03-5549-3800 (代表)
主税局課税部 (法人) ☎03-5388-2963
主税局課税部 (個人) ☎03-5388-2969

○地球温暖化対策報告書制度・導入推奨機器について
クール・ネット東京 ☎03-5990-5091

この情報誌は赤坂・青山地域の在住・在勤・在学者および赤坂・青山地域のために活動を希望する方々の編集委員によって作成しています。

赤坂・青山地域情報誌 第59号

令和4年(2022)12月発行 (発行部数: 25,000部)

編集: 港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行: 港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13
TEL: 03-5413-7013 FAX: 03-5413-2019

